

“国内初”顧客総合化プラットフォーム商品を開発

～火災保険をベースに契約単位から顧客単位への販売手法へ～

平成14年11月12日

あいおい損害保険株式会社（社長 瀬下 明）は、平成15年1月1日契約より、弊社自動車保険とのセット化を図り顧客総合化戦略を推進するために、弊社独自商品である家庭向け火災保険「家庭総合保険」の抜本的見直しを行ない、家庭総合保険を活用した販売戦略を推進してまいります。

今般展開する弊社の新戦略は、弊社において最も顧客数の多い自動車保険のお客様に、新しい家庭総合保険をご加入頂きやすくするための基盤（プラットフォーム）を構築し、保険料の割引、キャッシュレス化による無理・無駄のない保険の付け方を主目的として推進するもので、年間50万件、60億円の保険料増収を目標に、全社一丸となった取組みを推進いたします。

なお、今後弊社は、顧客総合化のためのプラットフォーム商品を家庭総合保険以外にも順次拡大し、契約単位から顧客単位へと販売手法を大きく転換してまいります。

開発の背景

家庭総合保険は、家庭向け火災保険の独自商品として発売以来順調に件数を伸ばしている商品であります。商品の特征としては、自動車リスク以外の家庭をとりまくリスクをまとめて補償することが可能であるとともに、弊社自動車保険のお客様には、自動車契約者割引5%を提供できる特長を持っておりました。

今般、この特長を更にグレードアップさせ、割引の拡大、自動車保険とのセット化をスムーズに行なわせる特約の新設、キャッシュレス化の採用という「安い」「簡単」「便利」の3つの要素を兼ね備えたプラットフォームを構築し、無理・無駄のない保険の付け方をお客様に提供することを従来以上に可能といたしました。

このことにより、お客様は弊社自動車保険と家庭総合保険にご加入頂くことで病気以外のあらゆるリスクに備えることができ、バラバラにしていた損害保険も一度の手続で管理できるようになります。

プラットフォーム商品「家庭総合保険」の特長（主なもの）

1. 煩わしい保険契約の管理を解消することができます。

弊社自動車保険のお客様については、自動車保険の継続時に家庭総合保険も契約手続を完了することができます。これまで、自動車保険と火災保険の契約期日が異なる場合は、各々の契約を個別に管理するか、契約期日をあわすための手続を行なうなど、管理が煩雑でしたが、今般、新しい特約を新設することにより、当社自動車保険にご加入頂いているお客様が、既に契約期日の異なる火災保険に契約している場合でも、契約期日を待たずに家庭総合保険にご加入でき、保険料の無駄が生じないよう補償は現在の契約期日よりご提供することが可能となります。保険料は補償開始月に口座振替となりますので、キャッシュレスでご契約いただけます。

さらに、翌年度以降は、自動車保険、家庭総合保険が同じ契約期日でキャッシュレスでご継続いただける仕組みを構築いたしました。

なお、弊社自動車保険にご加入いただいていないお客様も自動車以外のリスクを家庭総合保険で補償することができますので、無駄のない保険の付け方が可能となります。

2. 自動車契約者割引10%を新設しました。

従来の家庭総合保険は弊社自動車保険にご加入のお客様に5%の割引をご提供しておりましたが、今般の改定により、保険期間が1年で、保険期間および扱い代理店が弊社自動車保険と同一の場合、従来の5%割引に加えさらに最大10%の保険料割引を実施いたします。

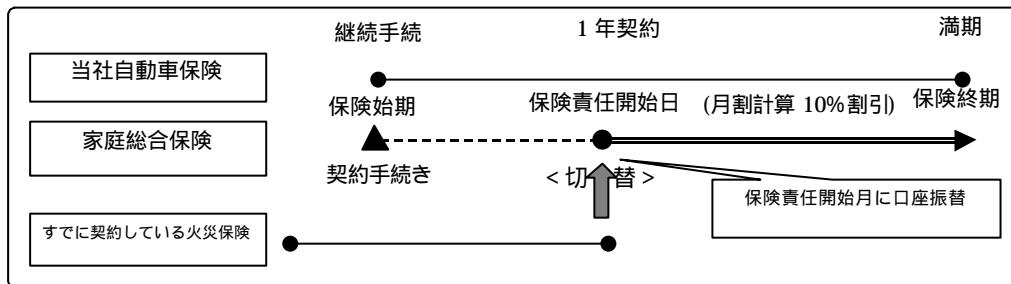
3. 「ワイド」「ベーシック」「エコノミー」の3つの補償プランをご用意いたしました。

これまでの家庭総合保険は、補償範囲の広いワイドパターンのみのご契約をご提供してまいりましたが、お客様のニーズに合わせ、補償範囲を3パターンをご用意し、さらにご加入しやすくなりました。これまで、住宅総合保険にご加入の方はベーシックプラン、住宅火災にご加入の方はエコノミープランでのご契約が可能となります。

4. マンション戸室にお住まいの方はさらにお得です。

今般、家庭総合保険の保険料を見直すことでマンション戸室専用料率を新設いたしました。従来の家庭総合保険に比べ、建物で30%、家財で20%の保険料の引下げを実施いたします。

5. ご契約例



東京都 木造建物の例 (保険期間: 1年 建物 1,500万円 家財 1,000万円)

ワイド	ベーシック	エコノミー
火災・落雷・台風など		
物体落下・水濡・盗難・水災・別宅家財など		
破損事故・引越中家財		
約43,000円	約40,000円	約30,000円

以上